



47回日本古武道演武会

立春 春が始まる日とあるが、今日の2月4日は早朝から北風と共に冷たい雨が振っている。

横須賀道路を走行中車窓にパチパチと雨が激しく打つ音を聞きながら、千代田区北の丸公園 日本武道館に向かう。

集合時間朝8時に受付前に出演者6名の顔が揃う。荷物を置き大道場に入る。

正面に向かい左半分が畳敷き柔術系が使う。右半分は板床で剣術系が使う。

我々は板床の方で自分の立位置を確認した所、ほぼ道場の中心あたりになっていた開会式は10時半、大道場に35流派220余名が演武の服装で整列した。演武始は、小笠原流弓馬術の射手が古式に則り力強く弓を射る事から始まった。

我々田宮流の出番予定は35流派中33番目で15時36分となっている。それぞれが大道場で他流派の見学や昼寝等々自由に時を過ごし出番を待つ。宗家先頭に一列縦隊で入場し、A組は小野・石川・三宅の3剣士が表の巻きから、稲妻・押抜・除身・胸之刀・突留の5本を、B組は宗家・吉池・私の3剣士が、虎乱の巻きより刀合切・水鏡・左鐵・松風・夜嵐の5本を抜いた。

表の巻は技が揃った状態を終始した様だが、虎乱の巻の方は、技に個人の解釈の違い(ずれ)があり、動作一つ一つにバラツキが生じていた演武となったと思う。

演武納めはおきまり、森重流砲術の火縄銃が礼式に則り打ち放す射技を披露した。

見学応援に来て下さった、井上さん・鈴木さん長い時間お疲れ様でした。

またご苦労様でした。

ラーメン・餃子・生中で今日の疲れを癒しました。

24'2'4 元喜.

◇井上さん、鈴木さん応援ありがとうございました。今回の写真は鈴木さんに撮影して頂きました。◇

